

東海大学福岡短期大学教育研究年報 2017 年度版 発刊にあたって

本学は、1966 年（昭和 41 年）に福岡県宗像市に開学した東海大学工学部（福岡教養部）を前身とし、1990 年（平成 2 年）4 月に情報処理科と国際文化学科の 2 学科を擁する短期大学として開学しました。以来、東海大学の建学の精神と教育理念のもと、情報化・国際化時代を担う人材の育成を目的として、短期大学の教育的使命である、学芸の専門性とともにも実社会に必要な能力の教授に努めてまいりました。その間、4,700 名を超える卒業生を地域や社会へ送り出し、微力ながら短大教育の責務を果たしてまいりました。しかしながら、少子化や大学全入時代の到来といった短期大学を取りまく急激な社会環境の変化もあり、本学は学校法人東海大学の決定を受け、2017 年度を以って、28 年間の短期大学の歴史に幕を閉じることとなりました。本年報は短期大学として本学の教育研究活動についての最後の年報となりますことをご報告申し上げますとともに、本学の教育研究活動の実状を伝え、全国の短大教育の一助となれば幸甚に思う次第です。

この 28 年間を振り返りますと、本学が開学した 1990 年代以降、国内外は激動の時代を迎えました。国際関係は国際化からグローバル化へと名を変え、またパソコンや携帯電話といったモバイル機器の発達とともにインターネットや SNS を中心とした情報化が急激に進展しました。情報化とグローバル化は、今や現代社会を表すキーワードとなり、政治経済からライフスタイルに至るまで、人や世界との結びつきに大きな変化をもたらすこととなりました。本学における情報処理科と国際文化学科の学びの方向性はまさにこうした時代とともにあったのです。

そうした中、本学では、専門的な知識やスキルの教授と同時に、創立者松前重義先生による東海大学の建学の精神と教育理念である文理融合に根差したバランスのとれた人間教育も重視してきました。すなわち、人間、社会、自然、歴史、世界等に対する幅広い視野をもって、明日の社会、歴史を担う強い使命感と豊かな人間性を培うことを教育の根幹に据えてきたのです。本学の歩みは本年度を以って終わりますが、今後もこうした東海大学の建学の精神と教育理念が卒業生の中に継承され、様々なところでその種子が花開くことを切に願ってやみません。

末筆となりますが、これまでの卒業生、教職員、地域の皆様、ご関係各位に対しまして、深く感謝の意を表しますとともに、長年にわたり頂戴いたしました、ご厚情に衷心より御礼申し上げます。28 年間ありがとうございました。

2018 年 3 月
東海大学福岡短期大学
学長 神山 高行